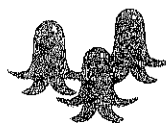


第6回「てつがくカフェ plus」を開催します！



いま、〈食べる〉ことのでつがく

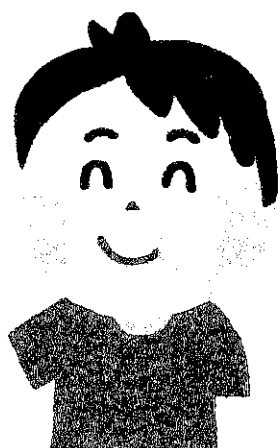


私たちは、なぜ毎日当たり前のようにご飯を**食**べるのかと聞かれたら、もちろん「生命を維持するため」という答えが返ってくるでしょう。

しかし、現在まずめったなことでは**食**料に事欠かない日本において、**食**べることにはそれ以外の意味が次々と付与されているように思います。グルメや高級食品を**食**べるのはブランド品を身にまとうことに似た意味もありますし、一方でインスタント**食**品など手軽に**食**べられるものがあふれたことで、**食**べることが意味の希薄な行為になっている側面もある気がします。また震災以降、放射線量が高い地域で栽培された野菜に対して、人々の不安が広がりました。放射線だけでなく農薬や遺伝子組み換え**食**品など、**食**べものの「毒」の部分もピックアップされるようになっていきます。それを**食**べることで、命が脅かされる**食**べものも存在するのに、本当に**食**べることは生命維持のためだけの行為と言えるのでしょうか。

「**食**べることは生きること」。この言葉の真意を、今のあなたはどのように考えますか？**食**欲の秋の夜長に、お茶を飲みながら一緒に考えてみませんか。

(文責：房内まどか)



■ 第6回「てつがくカフェ plus」 ■

テーマ：「いま、〈食べる〉ことのでつがく」

日時：2013年10月30日(水曜日)19:00～21:00

場所：仙台市市民活動サポートセンター3階 研修室2

ファシリテーター：房内まどか(てつがくカフェ@せんだい)

参加費：無料

事前申込み：不要(直接会場にお越しください)

問い合わせ先：E-mail tanishi@hss.tbgu.ac.jp (西村まで)

てつがくカフェ@せんだい HP：<http://tetsugaku.masa-mune.jp/>

■ てつがくカフェ plus とは ■

通常のでつがくカフェを行いながら、対話の進め方やテーマの絞り方、さらにはファシリテーション・グラフィックの書き方などを参加者どうしで同時進行的に問い直す、メタ・ダイアログをプラス(plus)したトレーニング型の「てつがくカフェ」です。

■ お知らせ ■

〈3.11 以降〉読書会「震災を読み解くために」開催中です！現在はジャン＝リュック・ナンシー著「フクシマの後で：破局・技術・民主主義」を読みすすめています。興味のある方はご連絡ください。E-mail philcfsendaiaw@gmail.com (編引まで)